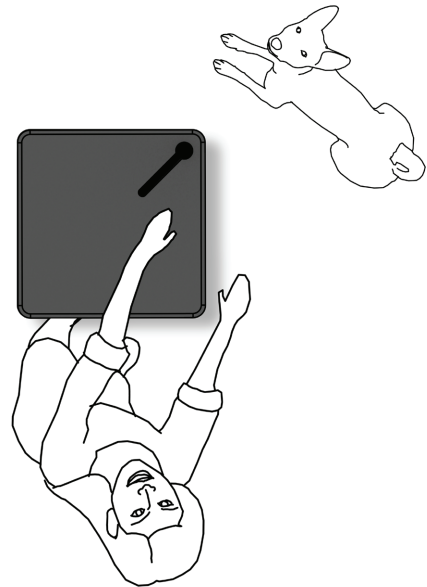


JŪBAKO

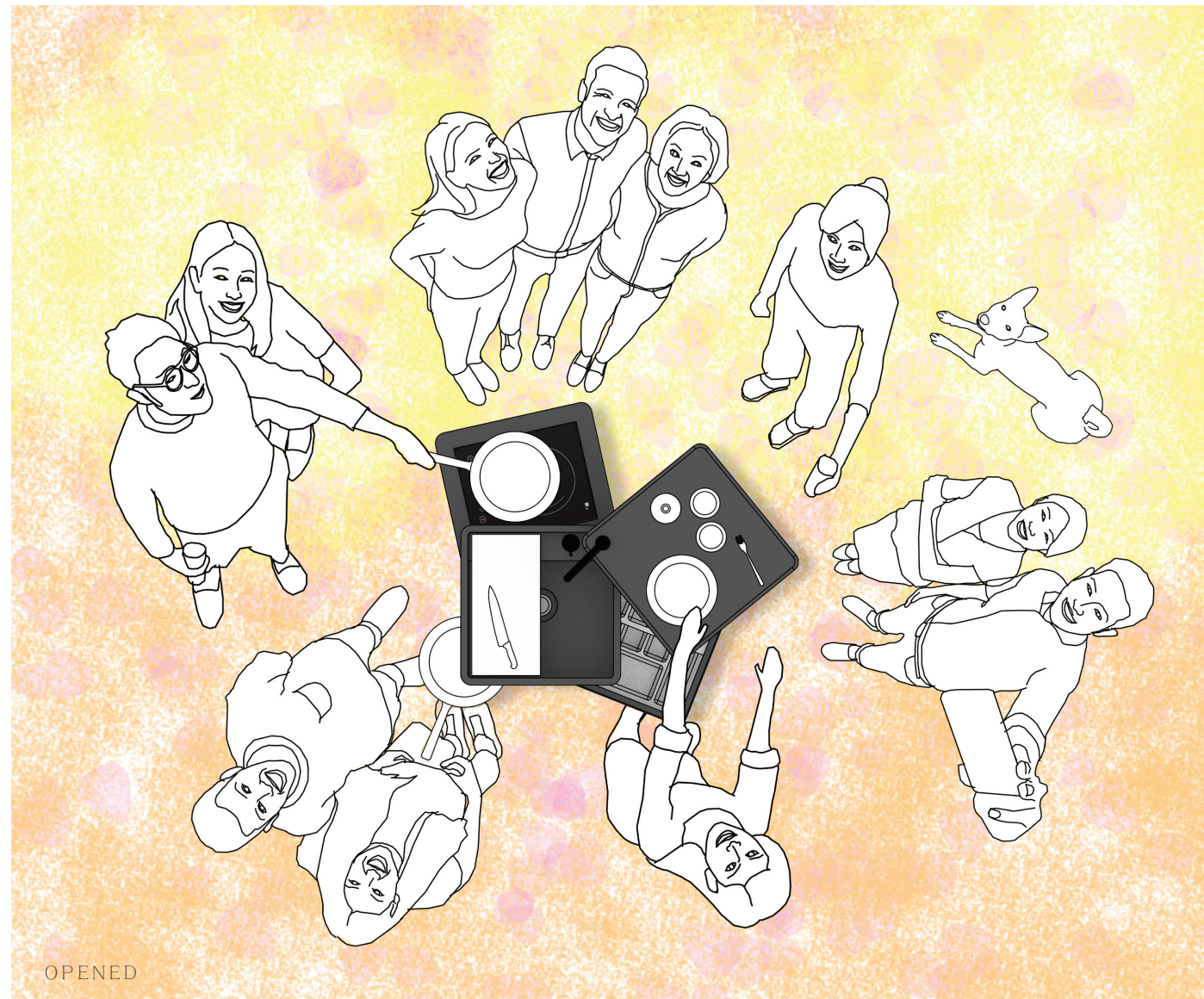
重なる箱のキッチン

キッチン空間アイデアコンテスト2018

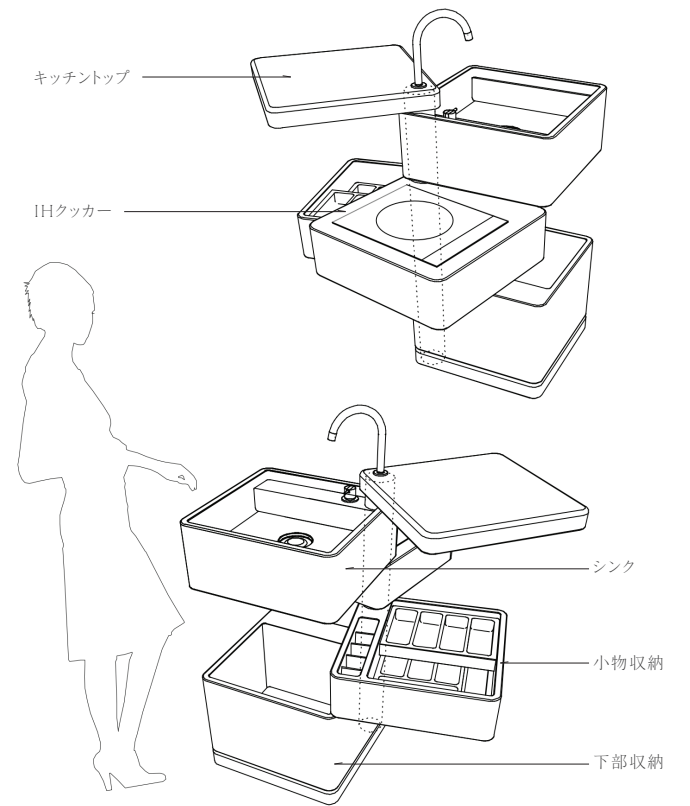
最小限のコンパクトキッチン空間の提案です。日本の伝統的な食器である重箱のように、使われない時は重なった一つの家具になります。重箱をひらげてハレの日のおもてなしをするように、箱形のキッチンを広げることで人のたまりを自然に周囲につくることができます。周りに友人たちがワインを片手に集まります。コンパクトキッチンはセカンドキッチンとしての、ハレの日ための”小さいけれど楽しいキッチン”の使われ方が考えられます。キャンプファイアーのたき火を囲むように、団らんの中心で変化するキッチンは現代の生活感にも合った、ミニマムだけど周囲に人が集まる優しい空間を生み出します。



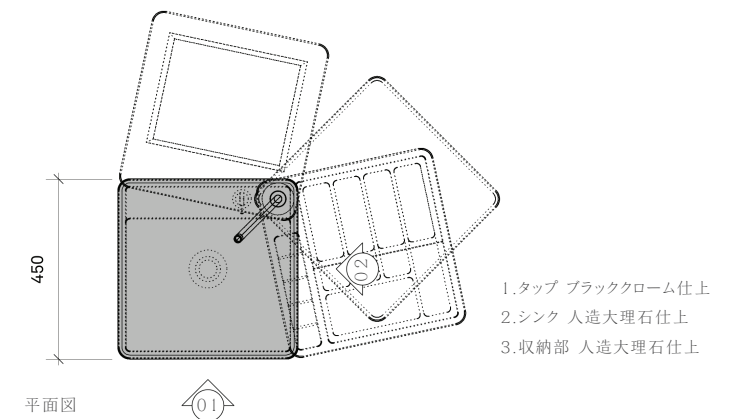
CLOSED



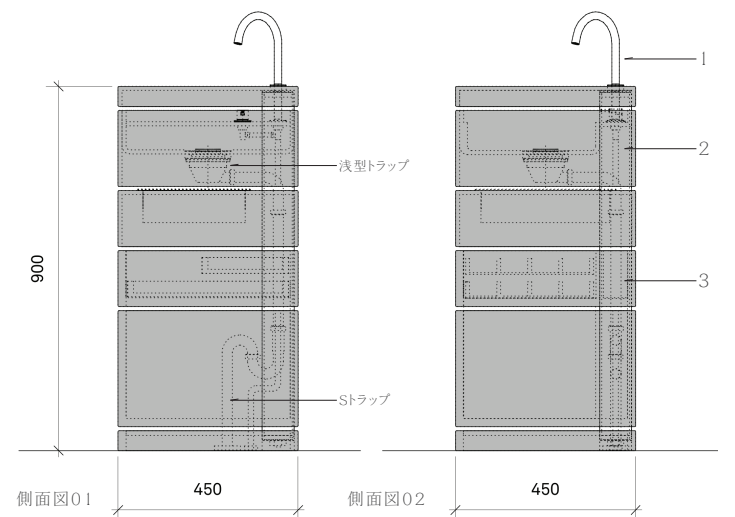
OPENED



キッチンにおける最小限の機能を分解して各階層の”箱”に配置しました。キッチントップ、シンク、クッカー、キッチン小物用の収納、大きめの収納を最下段に置きました。筒状の構造体にすべての配管や配線が集約されて、箱状の各階層はこの構造体を中心にクルクルと回転します。シンクと最下段の収納部は固定されることによって配管スペースを確保しています。



平面図



側面図01

側面図02

